



カリオカの風

リオデジャネイロ日本人学校通信

5月号

令和5年5月 2日
校長 小塚 広司

学校教育目標

「自他の生命と人権を尊重し、
ねばり強くたくましい心豊かな
児童生徒を育成する」

～世界の架け橋となる子ども
たちの育成を願って～



ゆっくり・あせらず リオ日学の生活を楽しみましょう

朝夕に涼やかな風が吹く季節になりました。教室から見るコルコバードのキリスト像も澄んだ青空に映え、日本の新緑の季節のような、これから本格的に始まる新しい1年に期待がふくらみます。

毎朝子どもたちは、スクールバスを降りると「おはようございます！」と元気な挨拶をしてくれ、意欲と活気が感じられます。

4月中、新しい環境や人間関係に慣れるため、子どもは大人が思っている以上に気を張って過ごしていることも考えられます。

5月は、ゆっくり、あせらず学校生活や勉強のペースをつかむために、ご家庭でも早寝・早起き・朝ごはん、家庭学習の定着、持ち物点検など、リズムづくりをお願いいたします。

○家庭と連携した子どもの見守りと相談体制づくり

新しい環境の変化により疲れが出始める頃です。この時期は、不安感を伴って体調を崩すこともあり、ご家庭でもお子さんの様子を見守っていただければと思います。

学校は「リオ日学ファミリー」を合言葉に「いつでもだれでも相談できる体制」づくりを心がけ、子どもたちに声をかけています。心配なことがありましたら、遠慮せずに担任等へご連絡ご相談ください。

○入学式（4月11日）が無事に挙行できました



<始業式 校長講話より>

皆さんの命は、両親そのまた両親ときかのぼると何人の方が「いのち」をつないでくれたのでしょうか。詩人・相田みつをさんの詩「自分の番 いのちのバトン」に「父と母で二人 父と母の両親で四人 そのまた両親で八人 こうして数えてゆくと十代前で千二十四人 二十代前では？なんと百万人を越すんです」と書かれています。

私の亡き父は生きていれば100歳ですが、太平洋戦争で第81海防艦に乗り、船尾で潜水艦を沈める機雷を落としていました。激しい戦いの中、艦長が『お前は若いから、兵曹長（32歳妻子持）を船尾に、かわりに船の前方で機関銃を撃て』と命じられました。この日に限って敵の爆弾が兵曹長に命中し亡くなったそうです。もし交代していなかったら父は亡くなり、今私はここにいません。

私たちに「いのち」のバトンを託してくれた百万人の方々の中には、きっと難しい局面に立ち向かい、それを乗り越えてきた方がいたはずですよ。

これからリオデジャネイロ日本人学校で、友だちや先生方と「うれしい、楽しい」という感動を味わう最高の時間が過ごせます。この出会いに感謝し、それらの体験を成長の記憶として心に刻み、粘り強くじっくり「自分の番」を生きていきましょう。

<5月学校朝会 校長講話より>

「شوية」この文字を読んでみましょう。アラビア語で「シュワイヤー」「ゆっくり、ゆっくり」という意味です。私がサウジアラビア・ジッダ日本人学校で働いていた時、お店の順番待ちなど焦ったそぶりを見せると、必ず「シュワイヤー」と目配せされ、それで冷静になれました。ポルトガル語にも『Pouco a pouco』という言葉があります。皆さんの新しい生活が始まり1カ月がたちました。勉強や友達作りなど結果を求められると窮屈な気持ちになりますが、『Pouco a pouco』『シュワイヤー』の精神でゆっくりゆっくり学校生活を始めましょう。

今日から5月、もし思いどおりにならないことがあっても、私たちは皆さんが安心してリオ日学に登校し、明るく元気に生活できるように、全力で応援していきます。

○ リオデジャネイロ日本人学校の1日より
7:50 登校風景 (フラメンゴ・レブロン)



8:30~15:10 授業風景
＜総合的な学習の時間＞



＜英会話＞

＜ポルトガル語＞



12:15~12:55 学校昼食会



13:05~13:25 昼休み



15:30、16:00 下校風景 (フラメンゴ・レブロン)



「さようなら」「また明日」「até amanhã」。
1日の終わりに、フラメンゴとレブロンに別れてスクールバスに乗る前、心地よい疲れと名残惜しさと、明日また会えることの期待を感じます。こんな素敵な日常が、子どもたちの成長を支えています。

○元気でね！



4月28日(金)を最後に、
河田 陽南子さん (小5)
河田 悠義さん (小6)
が帰国しました。
楽しかった日々をありがとう。

○ようこそリオ日学へ！



4月17日(月)、千葉県より
大野 瑛人さん (中2)
大野 慧人さん (中2)
が新しい仲間になりました。よろしくね！

＜第一回学校運営委員会の開催＞

4月13日(木)、オンラインにて第1回学校運営委員会を開催し、予算案も含めた学校運営について説明いたしました。皆さまからご意見をいただきながら、リオデジャネイロで暮らす子どもたちのために、より良い教育をまいります。どうぞよろしくお祈りします。(敬称略)

- 委員長 佐藤 (三井物産)
- 副委員長 志田 (双日)
- 委員 坂本 (三井物産)
- 委員 山本 (三菱商事)
- 委員 井上 (MODEC)
- 委員 西原 (総領事館)

＜リオデジャネイロ日本人子弟教育会の開催＞

4月25日(火)、オンラインにてリオデジャネイロ日本人子弟教育会を開催し、学校経営方針及び令和5年度予算案について承認いただきました。コロナ以前の活動が実行できるように、安全・安心を第一に、リオデジャネイロ日本人学校ならではの教育を進めてまいりますのでどうぞよろしくお祈りします。(敬称略)

- 理事長 坂本 (三井物産)
- 副理事長 佐藤 (三井物産)
- 理事 志田 (双日)
- 理事 山本 (三菱商事)
- 理事 井上 (MODEC)
- 理事 西原 (総領事館)

＜PTA役員の皆様よろしくお祈りします＞

4月25日(火)、対面とオンラインにて令和5年度PTA定期総会を開催しました。皆さまの貴重なお時間とお力添えをいただきます。子どもたちのために、どうぞよろしくお祈りします。

- 代表 井上 (敬称略)
- 会計 中野
- 監査 佐藤
- 学校 小堺 松平

＜ジャンケン・スイッツ！ 思いを声に出そう＞

ジッダ日本人学校勤務時、インドネシアの学校と交流しました。言葉が通じなくてもできることはないか相談すると、スイッツ(日本のジャンケンと同じ)を教えてくださいました。親指(象)・人差し指(人)、小指(ねずみ)の三種類で、勝ち負けは、○象 vs ×人、○人 vs ×ねずみ、○ねずみ vs ×象、です。彼らはこれを無言でやります。よくぞ呼吸が合うものだと感心しました。

学校集会でスイッツを体験しながら、やっぱり思いは声に出そう！と呼びかけました。あいさつや返事は、人間関係作りの第一歩です。ジャンケン・スイッツ！